学校番号	３０４

令和８年度　国際文化科

教科	国際文化	科目	スペイン文化Ⅱ	単位数	２単位	年次	３年次
使用教科書	「 Nos Gusta I (Gramatica para Hablar)　(朝日出版)						
副教材等	なし						

1　担当者からのメッセージ（学習方法等）

語学習得のために必要な基礎的な文法演習を繰り返し行うと共に、基本的会話表現の練習を、あらゆる場面を用いて実践的に行います。また、ビデオ教材、読み物、講義を通じて、文化的知識を深めます。

2　学習の到達目標

【知識及び技能】
初級スペイン語の音声や語彙，表現，文法，言語の働きなどの理解を深める。実際のコミュニケーションにおいて，目的や場面，状況などに応じて適切に活用できる技能を身に付けるようにする。
【思考力、判断力、表現力等】
コミュニケーションを行う目的や場面，状況などに応じて，話し手や書き手の意図などを的確に理解したり，これらを活用して適切に表現したり伝えあったりすることができる力を養う。
【学びに向かう力、人間性等】
スペイン語の背景にある文化に対する理解を深め，主体的，自律的にスペイン語を用いてコミュニケーションを図ろうとする態度を養う。

3　評価の観点及びその趣旨

観点	a:知識・技能	b:思考・判断・表現	c:主体的に学習に取り組む態度
観点の趣旨	スペイン語の音声や語彙、表現、文法、 言語の働きなどの理解を深めるとともに、これらの知識を、聞くこと、読むこと、話すこと、書くことによる実際のコミュニケーションにおいて、目的や場面、状況などに応じ適切に活用できる技能を身に付けている。	コミュニケーションを行う目的や場面、状況に応じて、日常的な話題や社会的な話題について、スペイン語で情報や考えなどの概要や要点、詳細、話し手や書き手の意図などを的確に理解したり、これらを活用して適切に表現したり伝え合ったりしている。	スペイン語の背景にある文化に対する理解を深め、聞き手、読み手、話し手、書き手に配慮しながら、主体的、自律的にスペイン語を用いてコミュニケーションを図ろうとしている。

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

4　学習の活動

学期	単元名	学習内容	単元(題材)の評価規準	評価方法		
				知(a)	思(b)	主(c)
1学期	第7課～第8課	1. gustar, volver と同種の使い方をする動詞と代名詞の用法 2. 再帰構文 3. 時間の表現	a: gustar, volver などの動詞の使い方を理解している。再帰構文の意味を理解している。 b: ごく身近な話題（行動の予定など）を扱った文章を読んで概要を捉えている。 c: 本単元で学んだ文法事項や語彙を使って、コミュニケーションをとろうとしている。	定期考査 小テスト	定期考査 小テスト	課題
2学期	第9課～第10課	1. 直接代名詞を含む文 2. 100より大きな数字 3. 間接目的代名詞を含む文	a: 直接目的代名詞や間接代名詞の働きを理解している。 b:ごく身近な話題（買い物の場面など）を扱った文章を読んで概要を捉えている。 c: 本単元で学んだ文法事項や語彙を使って、コミュニケーションをとろうとしている。	定期考査 小テスト	定期考査 小テスト	課題
	第11課	1.　不定詞 2.　比較 3.　天候の表現	a:不定詞の働きや意味を理解している。 b: ごく身近な話題（天候に関するやりとりなど）を扱った文章を読んで概要を捉えている。 c: 本単元で学んだ文法事項や語彙を使って、コミュニケーションをとろうとしている。	定期考査 小テスト	定期考査 小テスト	課題
3学期	第12課	1. 直接法点過去 2. 不規則動詞	a:直接法点過去、不規則動詞などの働きと意味を理解している。 b: ごく身近な話題（子どもの頃の出来事など）を扱った文章を読んで概要を捉えている。 c: 本単元で学んだ文法事項や語彙を使って、コミュニケーションをとろうとしている。	定期考査 小テスト	定期考査 小テスト	課題

※　表中の観点について　a:知識・技能　b:思考・判断・表現　c:主体的に学習に取り組む態度